

一般質問通告書（平成29年12月定例市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
1	大塚 州章	1. 歴史文化財と観光振興政策の連携について	<p>(1) 白杵市歴史資料館が開館して5年を迎えようとしています。以下の事についてお伺い致します。</p> <p>① これまでの来館者数は</p> <p>② 今後の誘客計画は</p> <p>(2) 市長は石仏群と下藤地区のキリシタン遺跡を「祈りの回廊」という政策の実現をどの様に考えているか。</p> <p>(3) 白杵市の観光資源の多くは歴史的文化遺産であると思うが、これから国民文化祭、全国障害者芸術・文化祭、ラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックの開催が間近に迫ってきた中で誘客や広報宣伝にはプロジェクトチームをつくるか、または関係各課の連携が必要だと思いませんがいかがでしょうか。</p>		
2	内藤 純孝	1. ほんまもの里みんなで作る白杵市食と農業基本計画について	<p>(1) 白杵市では平成22年に「ほんまもの里みんなで作る白杵市食と農業基本条例」を制定しており、平成24年には平成33年度を最終目標年とする基本計画が策定され、平成29年度に後期5年間の計画の見直しを行うことになっています。</p> <p>計画の4つの基本目標である</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全・安心な食糧の供給 ・持続可能な農業の振興 ・活力ある農業の振興 ・環境に配慮した農業の推進 <p>について、これまでの主な取り組みや課題、後期期間における具体的な対策についてお伺いします。</p>		
		2. 野津地域の資源を活かした観光振興について	<p>下藤キリシタン墓地とマレガ文書は、国内にとどまらず世界的にも貴重なものであることが判明しました。世界の遺産になることも夢ではないという報道もあります。</p> <p>中野市長の目指す「祈りの回廊（仮称）」構想の実現と、新たな白杵市の観光名所となることも見据え、以下の4点について伺います。</p> <p>(1) キリシタン墓地の発掘調査から全容解明までに、どれくらいの時間がかかると考えていますか。</p> <p>(2) キリシタン墓地周辺環境整備を行う必要があると思いますが、調査と環境整備を同時進行することはできないでしょうか。</p> <p>(3) キリシタン墓地に観光客が訪れるようになれば、隣接する吉四六ランドが野津地域の観光拠点としてふさわしいと考えます。風連鍾乳洞を初めとする周辺の名所旧跡と連携し、年間を通して観光客を呼び込む工夫が必要だと思いませんかでしょうか。</p> <p>(4) そのためにも、旧おへまハウスを、キリシタン墓地・吉四六さん・旧野津町に関わる資料館に改装することはできないでしょうか。</p>		
3	奥田 富美子	1. 災害時の近隣自治体との協力体制について	<p>(1) 今回の台風18号による被害で近隣市町村間での応援体制が必要になったと思われませんがどのような取り組みがなされましたか？</p> <p>(2) 白杵市の地域防災計画では「隣接する市町村間と訓練を実施する」の項がありますが、現状で災害時の近隣自治体との相互支援体制について、新たに明文化する必要はありませんか？</p>		
		2. 市民力の活用について	<p>今回の18号被害の風評被害対策として各種取り組みを行う計画ですが、大分県からの補助金を含め財源を有効活用するためにもそこに市民力を活かしたら良いと考えます。</p> <p>(1) 風評被害対策のひとつで、11/23に福岡で行われた観光PRの取り組み内容と成果、さらに今後、期待する効果についてお示してください。</p> <p>(2) 婚活事業には「結婚支援員（イランシヨワさん）」、移住・定住支援に「移住・定住サポーター」がいるように白杵を盛り上げることに協力を惜しまない市民力を活用するため、組織化が必要と考えます。今後の方策をお聞かせください。</p>		

一般質問通告書（平成29年12月定例市議会）

質問順序	質問者	質問の要旨	具体的内容	答弁順序	答弁者
4	戸 匹 映二	1. 台風や豪雨に伴う家屋の浸水対策について	(1) 市内の家屋浸水対策について ① 家屋の浸水被害地域についての現状と今後の対策を伺います。 (2) 共助・自助としての家屋浸水対策について ① 共助としての浸水被害対策では、自治会や自主防災会などの地域ごとでの対策にはどのような取り組みが必要と考えますか。 ② 各戸別の浸水被害対策としてはどのような対策が必要と考えますか。 ③ 自治会や自主防災会及び各戸別の浸水被害対策への支援についてはどのように考えていますか。		
		2. 福祉課題への相談援助体制について	(1) 福祉課題における相談援助の現状について ① 各種福祉課題に対する相談援助にはどのような窓口や支援体制がありますか。 ② 長期の継続的支援や各課にまたがる支援が必要とされる福祉課題への対応はどのように行っていますか。 (2) 様々な福祉課題に対する相談援助体制の強化について ① 各課に重複するような福祉課題に対応する相談援助体制の強化のため、コミュニティソーシャルワーカーを配置してはいかがでしょうか。		
		3. 観光施設や公園その他公有地の雑草対策について	(1) 除草作業について ① 雑草対策で毎年除草作業が行われていますが、省力化やコスト削減、景観の保持などについてはどのように考えていますか。 (2) 雑草対策について ① 防草シートやグラウンドカバープランツなどの活用に取り組んでいる自治体がありますがどのように考えていますか。		
5	平川 哲郎	1. 介護保険制度	(1) 2018年度に向けて介護保険制度の審議がされています。生活援助のサービスが切り捨てられるというような事も聞かれますが、どのようになるのでしょうか？ (2) 安心・安全な介護が受けられるようにしてほしいという私たち高齢者の願いに応えてもらえる制度になっていくのでしょうか、お聞かせ下さい。		
		2. 国民健康保険	(1) 2018年度からは国保運営を県が担うようになりますが、保険料についての試算なども具体的になっていますか。内容についてお聞かせ下さい。 (2) 県と市町で行なわれている国保協議会の内容や進捗状況を市民に開示するなど市民に知らせる事をしてほしいと思いがいかでしょうか？		
		3. 教育関連	(1) 市内小学校の教室にエアコンを設置してほしいと要求し、前向きに検討するという事でしたがどのようになっていますか？ (2) 学校給食費の無料化は全国的にも県内でも広がっています。白杵市においても実施してほしいと思いがいかでしょうか？		
6	山下 幸延	1. 「地域おこし協力隊」の活動による町づくりについて	(1) 「地域おこし協力隊」の活動の一環として、空き家や古民家を活用し、地域の魅力を伝える拠点づくりを進めています。今後どのように町づくりに活かしていくのかお聞かせ下さい。		
		2. 地域振興に文化財を活用することについて	(1) 歴史的な建物や史跡などを生かした地域振興が進めやすくなるよう、文化庁は今年8月に、文化財保護法を大幅に改正する方針を決め、文化審議会の了承後来年中の施行を目指しています。これに関し、市としての今後の方針や取組みがあればお聞かせ下さい。		

一般質問通告書（平成29年12月定例市議会）

質問 順序	質問者	質問の要旨	具 体 的 内 容	答 弁 順 序	答 弁 者
7	衛藤 照生	1. 閉校した白杵市立豊洋中学校のこれからの活用について	(1) 白杵市として校舎の活用を今後どの様に展開していくか、お聞かせ下さい。 (2) これからの活用について地域との話し合い等をしてはいますか、お聞かせ下さい。 (3) 佐志生及び下ノ江地区から活用についての要望書等が提出されてはいませんか。 (4) 提出されていれば、要望書等の返答をお聞かせ下さい。		
		2. 乙見ダムの緊急放流について	(1) 県・市協定による緊急時放流規定等をお聞かせ下さい。 (2) 放流規定を見直す必要がありますか、お聞かせ下さい。 (3) 今後、緊急放流時にラジオ放送等を利用した、事前予告に取組みますか、お聞かせ下さい。		
		3. 企業誘致の土地開発について	(1) 野津東部工場適地の開発計画をお聞かせ下さい。 (2) 企業誘致に関し、県・市・商工会議所等と連携して行なう必要があると思いますが、今後どの様な体制で行うかを、お聞かせ下さい。		